



# せたな町 社協だより

No.32号

平成24年10月25日発行  
 社会福祉法人 せたな町社会福祉協議会  
 住所 せたな町北檜山区北檜山91番地2  
 TEL 84-4600 FAX 84-4699

## “ふれあい広場”12せたな開催 ～盛会裡に終了～



9月29日(土)、せたな町民ふれあいプラザ(北檜山区)において、第21回目の「ふれあい広場」が開催されました。今回は、町の健康づくりの集いと合同開催の基に、当日は、あいにく曇り空でしたが、協力団体等関係者を含め約350名の皆さんのご参加をいただきました。

江差町正覚院(寺院)の松村俊明住職から「今、大人たちに～生き生きと生き抜こう～」と題し、体の健康・社会的健康・心の健康について、高齢者が幸齢者となるようにと願い、人生の生き方について講演をいただきました。

また、アトラクションでは、「二爺の会」のお二人に出演をいただき、佐藤紀彦さん(北斗市老人クラブ連合会事務局長)のアカーティオン演奏に合せ佐々木尚孝さん(七飯町レクリエーション協会事務局長)がフーテンの寅さんや水戸黄門様の衣装で登場の寸劇を披露され、町・社協職員も飛び入り参加し、会場は歓声に包まれ多めに盛り上がりました。

赤い羽根共同募金活動にお手伝い下さいました、北檜山中学校生徒の皆さんと昼食献立等当日の運営について、ボランティアをいただきました地域の皆さんに心より感謝申し上げます。ご協力誠に有難うございました。



## せたな悠遊ふれあいパークゴルフ大会開催



9月20日(木)、北檜山グリーンパーク(北檜山区)において、高齢者と身障者を参加対象に第7回せたな悠遊ふれあいパークゴルフ大会が開催され、51名の参加がありました。今年は2名の方がホールインワンを決め、大いに盛り上がりながら、皆さん心地よい汗を流し、交流を深めていました。なお、順位は下記のとおりです。(敬称略)



- |          |           |
|----------|-----------|
| 【男性の部】   | 【女性の部】    |
| 1位 小林 義美 | 1位 狩野 叡子  |
| 2位 植村 太  | 2位 佐々木 鈴子 |
| 3位 磯辺 節雄 | 3位 森 ハツエ  |



## 瀬棚商業高等学校のボランティア活動



この度、瀬棚商業高等学校(校長:清原 薫)3年生の11人は、今年もボランティア活動の一環として、10月12日(金)クッキーキャンペーンを行いました。当日は、小雨の降る中、国道沿いで「交通安全啓発活動」や「高齢者宅を訪問」し、手作りクッキーをさし上げました。ちなみに今回は瀬棚商業高校として最後の活動になります。(平成24年度末で閉校)これまでの活動に感謝申し上げます。また、瀬棚町職員OB会の皆さんも訪問活動のお手伝いをしております。

## 高齢者と子どもものつどい開催

とき 10月11日(木)  
 ところ 瀬棚 B&G 海洋センター体育館



瀬棚区老人クラブ連合会主催による、高齢者と子どもの集い(老人スポーツ大会)が開催されました。当日は雨の中、ボランティア等も含め130人程が参加しました。競技は7種目にわたり行われ、各種目において高齢者と瀬棚保育所の児童がお互い連携しながら、わきあい合いと競技に取り組み、参加者相互の健康増進と親睦を深めることができました。

## 全道4ブロック研修会(道南地区)

とき: 9月29日(土)～30日(日)  
 ところ: 熊石ひらたない荘  
 主催: 社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会  
 後援: 八雲町・北海道檜山振興局  
 参加者: 128名(うち、せたな町18名)



この研修会は、時代に即した会の運営や事業の持ち方を再考し、母子寡婦家庭の生活向上と会への促進を図るとともに、各地区の母子寡婦会及び関係者一同が集い、交流を深め、各単位会の組織強化や母子寡婦家庭の福祉の増進に努めることを目的に行われているものです。

当日は、「目指そう!自立、活かそう!支援策」と題し、檜山地区から乙部町母子会の日沼亮子氏を含めた4名の代表者による事例発表が行われました。

また、江差中学校の三戸佳世教諭を講師に迎え、厚沢部中学校の西山裕恵教諭の伴奏に合わせ、手の運動や童謡を歌いながら認知症の予防などについて学び、脳と心に潤いをいただきました。

懇親会では、踊りやカラオケをしたり、北斗市の皆さんが披露してくれた盆踊りで会場全体が盛り上がり、大変楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

### 【報告案内事項】

- ◆第1四半期監事監査(平成24年4月～6月迄)  
 とき: 平成24年7月30日(月) 内容: 各会計並びに運営状況について  
 ところ: 北檜山総合福祉センター 結果: 適正に運営されていると認められました。  
 監査人: 社協監事 2名

### 【10月 主な行事】

- 1日(月) 赤い羽根共同募金運動開始(12月末迄)
- 2日(火) 檜山管内ボランティア活動研究集会(乙部町)
- 3日(水) 檜山北部小ブロック研修会(大成区)
- 4日(木) 第7回調整・推進会議(社協職員)
- 9日(火) 社会福祉法人指導監査
- 11日(木) 高齢者と子どもの集い(瀬棚区)
- 13日(土) ふれあいサロンぷらっと&リサイクルバザー(瀬棚区)
- 30日(火) 「安心・安全・福祉のまちづくり活動推進会議」(今金町)
- 31日(水) 社協第2四半期会計監査

### 【11月 主な行事】

- 6日(火) 北海道認知症の人を支える家族の会 道南ブロック研修会(北檜山区)
- 7日(水) 檜山管内老人クラブ会員研修会(～8日・函館市) ケアサービス検討会議(大成区)
- 15日(木) 檜山地区地域に理解され支持される社協づくり研修会(上ノ国町) 八雲保健所感染症対策研修会(八雲町)
- 21日(水) ケアサービス検討会議(大成区) 生活福祉資金貸付事業研修会(～22日・札幌市)
- 27日(火) 全道市町村社協事務局長連絡会議(～28日 札幌市)

発行所	社会福祉法人 せたな町社会福祉協議会	北檜山総合福祉センター	TEL 0137(84)4600 FAX 0137(84)4699
	社会福祉法人 せたな町社会福祉協議会 瀬棚支所	瀬棚総合福祉センターやすらぎ館内	TEL 0137(87)2672 FAX 0137(87)2650
	社会福祉法人 せたな町社会福祉協議会 大成支所	せたな町役場大成総合支所内	TEL 01398(4)6011 FAX 01398(4)6595

本誌は赤い羽根共同募金の配分金で発行されています。

# 愛情銀行事業

～平成24年8月16日～平成24年10月15日受付分～

皆様からいただいた温かいご厚志に心より感謝申し上げます。

【金銭預託】 (順不同・敬称略)

住所	寄付者名	寄付金額	備考
北檜山区	北檜山更生保護女性会	10,000円	ふれあい広場せたなフリーマーケット売上げの一部を
〃	北檜山陶芸サークル	4,500円	ふれあい広場せたなフリーマーケット売上げの一部を
瀬棚区	本間 成	20,000円	夫が生前お世話になったお礼として
〃	愛のふれあい訪問グループ	2,000円	リサイクルバザーの売上金の一部を
合計		36,500円	累計：778,355円

【物品預託】 (順不同・敬称略)

住所	氏名	物品名	住所	氏名	物品名
北檜山区	匿名	ペットボトルキャップ	北檜山区	伊瀬 公恵	ブルタブ
〃	木下 妙子	ペットボトルキャップ	〃	匿名	ペットボトルキャップ
〃	東ハイヤー	古切手	〃	城ヶ端建設(株)	ブルタブ・ペットボトルキャップ・古切手
〃	水野 鉄雄	ブルタブ	〃	山崎 和子	ブルタブ
〃	伊瀬 静子	古切手	〃	匿名	古切手
〃	サッポロドラックストアせたな	ブルタブ・ペットボトルキャップ	瀬棚区	ふれんど	ブルタブ・ペットボトルキャップ
〃	五十嵐 洋	古切手・ペットボトルキャップ・ブルタブ	〃	濱高 益郎	ブルタブ・ペットボトルキャップ
〃	日置 イチ	ペットボトルキャップ・古切手・古カード	〃	匿名	ブルタブ
〃	北檜山町農協ガソリンスタンド	ペットボトルキャップ	〃	匿名	ペットボトルキャップ
〃	せたな町立国保病院	ペットボトルキャップ・ブルタブ	〃	匿名	ペットボトルキャップ
〃	函館バス(株)北檜山出張所	古カード	〃	匿名	ブルタブ・ペットボトルキャップ
〃	匿名	ブルタブ・ペットボトルキャップ	〃	匿名	ペットボトルキャップ
〃	山崎 ヨシ子	ペットボトルキャップ	〃	せたな商工会瀬棚支所	ペットボトルキャップ
〃	太櫓町内会	ブルタブ(重さ:1.5kg) ペットボトルキャップ(重さ:5.34kg)	大成区	大成まちづくり会議	ブルタブ・ペットボトルキャップ・古切手

※お願い  
町民の皆様にご協力をいただいているペットボトルキャップの回収にあたり改めてお願いいたします。

①シールは、取り除く。  
②汚れている場合は、洗う。  
③回収対象は、清涼飲料水のボトルキャップです。金属キャップや醤油やわさびなどのキャップは対象外。

## 生活福祉資金・応急生活資金貸付

貸付資金	道社協生活福祉資金		町社協応急生活資金	
	件数	金額	件数	金額
北檜山区	—	—	—	—
瀬棚区	—	—	1件	20,000円
大成区	—	—	—	—
合計	—	—	1件	20,000円

平成24年8月16日～平成24年10月15日迄受付分

## 赤い羽根共同募金運動が始まりました

今年で66回目を迎える赤い羽根共同募金運動が10月1日から12月末までを期間として全国一斉にスタートしました。今年も『じぶんの町を良くするしくみ』がメインテーマです。皆様から寄せられた赤い羽根共同募金は、自分たちの住む地域の福祉事業等に還元され、地域の社会福祉事業や更生保護事業を支えています。



## 檜山管内ボランティア活動研究集会開催

とき：10月2日(火)  
午後1時30分～午後4時00分  
ところ：乙部町公民館  
主催：北海道社会福祉協議会檜山地区事務所  
参加者：75名(うち、せたな町35名)



この研究集会は、地域ボランティアに関する意識や理解を広く普及啓発し、裾野を広げ、実践者の資質向上と地域におけるネットワークの充実強化を図ることを目的に開催しています。

今年度の研究集会では、お二方より実践発表と講演が行われました。最初に、地元開催地の「乙部町ボランティアセンターの活動について」と題し、当センターの村田正男運営委員長から、笑顔あふれる福祉の町を築くために、その基本目的・重点推進事項等について話された。その後、実践では、せたな町でも開催している「ふれあい広場」の話を中心に、80名近い町民ボランティアの協力による歳末たすけあいバザーや、ボランティア活動普及事業指定校である乙部中学校の猫の手活動事例(70歳以上の家庭を対象に、夏・冬休み期間中要請に応じ、窓ふき・雪かき等のボランティアを実施。)を紹介、最後には高齢者等の生活課題の方策として、近所つきあいが希薄化しないよう見守り活動に努めることが大事と話していました。

また、道社協の富田彰地域福祉部長の講演では、「ボランティアセンターの活性化について」をテーマに、その課題として、道内におけるセンターの運営状況や昨年3月発生の東日本大震災を教訓に災害時の広域ネットワークの構築について、岩手県被災地支援でのボランティアの受け入れ体制が、ニーズ把握がきちんと出来ていなかったために、長期的な支援になった話など、終わりには、お年寄り等が「助けて欲しい」と声を上げることの出来る環境をつくるには、普段からコミュニケーションが重要であると話され大変有意義な研修内容でした。

## 檜山北部小ブロック研修会

とき：10月3日(水)  
午後1時30分～午後4時00分  
ところ：大成町民センター  
主催：北海道老人クラブ連合会  
檜山地区老人クラブ連合会  
参加者：129名(関係者含む)



この研修会は、新しい老人クラブ像について、檜山北部地区(今金町・せたな町)の老人クラブ会員同士が交流を深め、意見交換をすることにより、老人クラブ活動の組織強化と充実を図ることを目的に開催しているものです。

当日は、講義について、お三方から行われ、最初に八雲町熊石老人クラブ連合会の松田紀嗣会長から「楽しく元気で生きるために～老人クラブ活動の活性化を目指して～」と題し、地元での活動内容や熊石の歴史に触れた話をされ、続いて開催地せたな町の新保加奈子保健師から「生き生き体操」について、座ってできる指手の体操実技があり、また、林その子管理栄養士からは、「高血圧と塩」について、その、高血圧の原因ともなる塩の話をされ、会員の皆さんは熱心に聞き入り、楽しい交流が図られました。